

# 防災一口メモ ④

私たちの暮らす箱根町で、地震の発生が切迫性を帯びていると言われている大地震は、①東海地震 ②南関東地震（関東大震災の再来） ③県西部地震の3つです。いずれの地震も地震の規模を示すマグニチュードは、7から8クラスで、町内の震度については、震度6強の揺れが観測される恐れがあります。ここでは、東海地震についてお話ししましょう。

## 【東海地震】

東海地震は、駿河トラフを震源域とするマグニチュード8クラスの地震です。神奈川県が平成11年3月に実施したこの地震に関する被害想定では、箱根町でも最高で震度6強の揺れを伴い甚大な被害が予想されています。

**被害想定（抜粋）** 季節：冬 発生時刻：平日の18時 天候：晴れ 風速3m/s

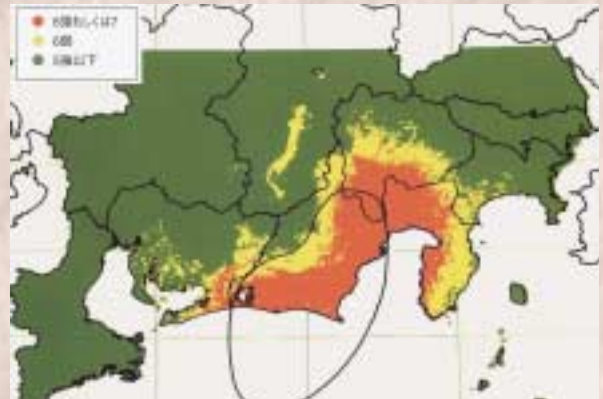
崖被害数 20箇所 木造大破 170棟 非木造大破 130棟 罹災者 530人 避難所避難者数 180人 疎開者数 240人 要救出箇所 230箇所

ひとたび東海地震が発生すると、その周辺では、大変な被害が生じると予想されます。そこで、地震の発生によって著しい被害が予想される地域は大規模地震対策特別措置法（1978年制定）により、地震防災対策強化地域として、箱根町を含む263市町村が既に指定

されています。

これだけの地震ですので、過去の発生した周期性や観測体制確立により日本で唯一、その発生が予知可能ではないと言われていた地震でもあります。この地震を対象とした警戒宣言や地震予知連絡会などがあります。

想定される震度分布



最後に、この東海地震をはじめとする様々な大地震に備え、町では緊急情報の伝達手段である防災行政無線の配備を進めるとともに、崖崩れによる孤立化に備え、町内10箇所に分散して発電機やチェーンソーなどの防災資機材およびアルファ米やカンパンなどの備蓄食糧を配備しています。また、自分の町は自分で守るという観点から災害時の初期活動が期待される自主防災組織の育成に取り組んでいます。

## とっておきの1枚 拝見！



元箱根 菅井清登さんより

この写真は、昭和32年頃の箱根中学校です。現在、この場所には幼稚園が建っています。手前には小学校があり、ブランコが見えています。

山紫水明のこの学校で、授業や野球などの部活動に親しんだ思い出はとても大きく残っています。

また、山田耕作が作曲したこの校歌は、世界に誇る風光を歌ったものであり、私も大好きな校歌です。

皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課にお問い合わせください。

## わが家のちびっ子



唐澤 <sup>さくら</sup> 桜 ちゃん (3歳7か月)

信久・則子さんの長女（宮城野）

♥お母さんからのひとこと  
「やさしい子に育ってね。」

## 町の人口と世帯

人口	14,804 (-50)
- 9月1日現在 -	男 6,990 女 7,814
( )内は前月比	世帯 7,230 (-22)



**100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ごみ減量標語 無駄なくし 少なくしよう ごみの量